

令和6・7年度始良・伊佐地区研究協力校「学力向上(授業研究研修)」
霧島市立小浜小学校 研究公開
(令和7年11月13日公開)

1 研究主題

仮説検証的な授業づくりによる授業改善の実現
～児童が「楽しい」と思える算数科の授業づくり～

2 研究発表

全体会 I では、研修係の平澤斉一教諭が研究発表を行いました。小浜小学校では、児童が「授業が分かる楽しさ」「学習に取り組む楽しさ」を感じられる授業を目指し、授業づくりの視点として、『時間的要素』『ファシリテーター的要素』『協働的な学びの要素』の3つの視点を設定し、チームでの授業づくりや授業実践、授業研究を行ってきました。全教職員が子供一人一人に寄り添いながら取り組んできたことについて、紹介されました。研究内容、具体的な取組は、以下のとおりです。



【研修係による研究発表】

- (1) 仮説検証型の授業改善
 - ・ チームで仮説を踏まえた授業構想に基づき、児童の姿を観察・分析
 - ・ 成果となる児童の姿に着目し、改善点を共有
- (2) 校内独自の学習指導案形式の設定
 - ・ 本時のノート計画、授業づくりの視点を基にした手立てを明示
 - ・ 「児童が『楽しい』と思える授業づくり」の視点を意識した授業実践
- (3) 組織的な授業づくり
 - ・ 単式学級、複式学級のグループ編成で多様なアイデアを交流
 - ・ 特別支援学級担任や養護教諭等も柔軟に参加
- (4) 児童・教師双方のルーブリックの活用
 - ・ 児童用：教師用ルーブリックと対になっており、授業終末の振り返りに活用
 - ・ 教師用：3つの視点ごとに評価尺度を設定

3 公開授業

(1) 第2学年 「九九のきまりを見つけていかそう」

2年生の授業では、「どことなくふうをすれば、九九をつかってもとめられるだろうか」という学習問題を解決していきました。授業者の瀬戸山智教諭は、既習内容を具体的に示しながら、児童が自分に合った解決方法を選択できるよう丁寧に働きかけていました。また、対話を重ねて進める協働的な学びの中で、児童は数学的な見方や考え方を働かせ、多様な解決方法に気付きながら、意欲的に学びを深めていました。まどめの場面では、一人一人が本時の学びを生かし、仲間と協力しながら一つの問題に向き合おうとする姿がとても印象的でした。

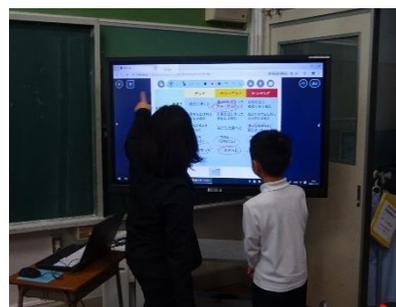


【2年生公開授業の様子】

(2) 第3学年 「はしたの大きさの表し方やしくみを調べよう」

第4学年 「小数の表し方やしくみを調べよう」

3年生は「1dLより少ない水のかさの表し方」、4年生は「0.1Lより少ない水のかさの表し方」という学習問題のもと、授業が展開されました。授業者の上村洋美教諭は、複式指導の特性を踏まえ、学習形態や方法を児童が選択できる場面を設定し、主体的な課題解決を促していました。また、ガイド学習では、児童が考えを比較したり共通点を見付けたりする活動を取り入れ、対話的な学びを通して理解の深化を図っていました。学習のまとめでは、児童用ルーブリックを活用して本時の学習を振り返り、次時への意欲を高める児童の姿が見られました。



【4年生公開授業の様子】

4 分科会

分科会では、公開授業ごとにワークショップ型の研究協議が行われました。協議では、これまで小浜小学校が積み重ねてきた授業研究の方法を基盤とし、「時間的要素」「ファシリテーター的要素」「協働的な学びの要素」の3つの視点から、授業の中で見られた児童の姿を丁寧に振り返りました。参加者は、授業参観で捉えた児童の学びの様子や反応をもとに、それぞれが有効だと考える手立てについて活発に意見を交わしました。真剣に考察し合う姿がある一方で、和やかな笑顔も見られ、参加者同士が安心して学び合える雰囲気が形成されていました。協議の最後には、ワールドカフェ方式による情報交流が行われ、互いの気付きを交換しながら、さらなる授業改善に向けた学びを共有する場となりました。



【分科会（3・4年）の様子】

《参加者の感想から》

【研究発表】

- 小浜オリジナルを考案し、その取組を共通実践できていることに驚いた。
- 授業が楽しいと思える授業にするために、教師用と児童用のそれぞれのルーブリックを活用している点がとても参考になった。
- 研究テーマ「仮説検証的な授業づくり」が、時間・ファシリテーター・協働の3観点で丁寧に可視化され、指導案様式やルーブリックが統一されている点がとても印象的だった。児童の「できた・選べた・つながった」という語で楽しさを捉える発想も、協議資料と響き合い、校内の共通言語が育っていると感じた。

【公開授業・授業研究】

- 低学年における学習の基本的なしつけ、板書の視写の仕方、ガイドのやり方など参考になった。本校は低学年が複式のため、なかなか丁寧な指導ができないのが悩みだったが、参考にしていきたいと思った。
- 苦手な児童でも「自分にもできそうだ」と思えるような見通しの提示や、教材・教具の工夫が随所に見られた。成果となる児童の姿に着目した授業研究に参加してみて、授業で良かったところをたくさん知ることができて、とても勉強になった。
- 自己選択・自己決定の場において、多くの準備がされていて素晴らしかった
- 様々な児童の実態がある中、児童が自発的に取り組む姿勢や、選択しやってみようという解決に向かう場面が見られ、支援の在り方がとても参考になった。